

宿泊研修

スタンダードコース

第2回スタンダードコースでは、
宿泊研修を実施致します。

11月19日～20日(木・金) 小国町(現地研修)

小国町の学びやの里を拠点に杖立温泉のガイド
などの現地研修を開催致します。

江藤 訓重

熊本ツーリズムコムソーション会長
熊本県小国町生まれ。大学卒業後、農
林業の傍ら、小国のタウン誌「とっばす」
を主宰。おぐにみらい塾長を経て、研修
交流施設「木理園」開業。国土交通省地
域振興アドバイザー、国土交通省若者
地方体験交流事業運営委員会委員、熊
本ツーリズムコムソーション会長などを
歴任。現在は高森町政策推進課。



江藤 理一郎

一般財団法人 学びやの里 事務局長
小国町生まれ。明治大学卒業後、故郷
にUターン。2008年より財団法人 学び
やの里に勤務し、2011年から現職。現
在、北里菜三郎記念館や宿泊・温泉・食
療などを町からの指定管理事業を運営
する一方、九州ツーリズム大学/農泊教
育旅行・後住生・水の駅プロジェクト
など地域おこし事業を展開中。



※当日は雨天でも開催いたします。※高層・高層代か臨時延長時に
なります。※当日は、雨天・休館時は閉館との開催となります。

スキルアップコース

第4回のスキルアップコースでは、
宿泊研修を実施します。

3月8日～9日(火・水) 安心院町(現地研修)

安心院町のグリーンツーリズム協会を起点に農家民泊
への宿泊などを通じて、現地研修を開催します。

宮田 静一

NPO法人安心院町グリーンツーリズム
研究会 会長
1993年アグリツーリズム研究会発足当
時から隔年、会長を務める。大分県グ
リーンツーリズム研究会代表者も兼任。
2003年に国土交通省の観光のカリスマ
に認定される。専業でぶどう農家、直売
所も営む。



安心院町におけるグリーンツーリズム

安心院町グリーンツーリズム研究会は
1996年に発足し農村民泊に全国で
初めて取組、都市と農村が交流するグ
リーンツーリズムの先駆けとして注目を集
める。年間2,000泊の一般客、約9,000
泊の修学旅行・体験学習を町の一般家
庭に家族として受け入れ、田舎ならではの郷
土料理を一緒に食べたり、農業体験、農
村の風景などを味わっている。



※当日は雨天でも開催いたします。※高層・高層代か臨時延長時に
なります。※当日は、雨天・休館時は閉館との開催となります。

くまもと むらづくり 人材育成塾

平成27年度の「くまもとむらづくり人材育成塾」を閉講します。
本塾は農山漁村地域において、地域の魅力を活かし多様なむらづくり活動を
展開する方々を対象に、むらづくりの基本的な視点や手法、実践的スキルを学びます。
皆様方それぞれの活動・取組を更に魅力的なものにし、また仲間を見つけて頂くための講座です。
是非、ご参加下さい。

塾生募集

参加費
無料



スキルアップコース

具体的なスキル・現在の課題の解決策を
求める実践者の方

スタンダードコース

地域づくり、むらづくり活動について
広く理解を進めたい方

スキルアップコース

具体的なスキル・現在の課題の解決策を
求める実践者の方

スタンダードコース

地域づくり、むらづくり活動について
広く理解を進めたい方



スタンダードコース

募集人数 25名

講師紹介

スキルアップコース

募集人数 25名

第1回 10月27日(火) 八代ハーモニーホール
地域づくり・むらづくりを行っていく目的や手法、理念について整理する。原則全ての講座の受講が必要ですが、受講できます。

主な学びのポイント 企画力

- ①13:30 開講式、オリエンテーション
- ②13:50 地域資源を活用したマーケティングによるむらづくり体験
- ③15:10 「食資源」を活かした交流によるむらづくり
- ④16:20 グループワーク

井手 修身

第2回 11月19日(木) 小国町(現地研修)
持続可能な地域づくりのポイントをフィールドワークを交えて学ぶ。

主な学びのポイント 企画力

- ①13:00 持続可能な地域づくりの手法～地域資源の活用と移住定住暮らしの視点から～
- ②15:00 現地研修(戸屋根)
- ③16:20 「地域づくりにおける現場力の活かし方」
- ④19:00 夕食(懇親会を予定)
- ⑤翌9:30 グループワーク
- ⑥翌12:30 「県のみらづくり関係施策の紹介」
- ⑦翌13:20 「卒業生の取組み」H26期生 金田 菜樹

※当日は送迎バスを用意しております。※宿泊、飲食代は受講者負担となります。

宿泊研修

第3回 12月17日(木) ホテルウイングインターナショナル熊本八代
地域の魅力をいかした情報発信や、リターンなどの若者による地域づくりを学ぶ。

主な学びのポイント 企画力

- ①13:30 観光、交流から移住・定住へ～ふるさと回帰の動向～
- ②14:50 地域の分析から、分析データに基づいた情報発信戦略
- ③16:00 グループワーク

菅 和雄
沢登 次彦

第4回 1月28日(木) ホテルウイングインターナショナル熊本八代
地域の素材を分析し、活用する商品開発から情報発信の手法について学ぶ。

主な学びのポイント 企画力

- ①13:30 「地域の文化となりわいを活かした景観・まちづくり」
- ②14:50 「地域を元気にする魔法「フットパス」」
- ③16:00 グループワーク

田中 尚人
濱田 孝正

第5回 2月23日(火) ホテルウイングインターナショナル熊本八代
地域の住民を巻き込み共に遂行していく手法を凝縮して行ためのノウハウを学ぶ。

主な学びのポイント 企画力

- ①13:30 「これまでにあるものを、これまでにない手法で、シマとマチとトカイをつなぐ仕事」
- ②14:50 「一産業を、かっかぶって、感動があって、稼げる3K産業にする!」
- ③16:00 グループワーク
- ④17:30 卒業式

本田 節
(和ひまわり亭 代表取締役)
熊本県球磨郡池田町の専業農家に生まれ、10のわりクルーザーを結成し、ボランティアやまちづくり活動を始め、そこから出会った仲間たちと地産地消「食」を地域資源とした拠点、農士の家庭料理「ひまわり亭」を立ち上げる。



菅 和雄
(NPOふもとま回帰支援センター)
1972年生まれ。東洋大学大学院博士課程修了。研究員として(財)宇井野里に所属。回帰支援地活用の上上げ、等 都府県同時期に発生した農業に携わる。2009年10月、現在日本で最もリターン率の情報誌をまとめるNPOにて、都市と農村の連携強化として活動する。



沢登 次彦
(ベルリカール・ライフスタイル じゅんりやリサーチ・コンサルタント)
1993年九州大学入試。教育機関広報事業部を経て、2002年に回帰旅行事業部へ所属。観光地でのエリアプロデュースとして地域活性化に携わり、2007年より現職。観光庁を結成するとする中央省庁や地方自治体の各種審議会委員を務める。



田中 尚人
(熊本大学政策推進研究センター)
京大法学部卒業後、岐阜大学講師を経て、現在熊本大学准教授。地域の風土に根ざした公共空間づくりの、まちづくり、地域学習プログラムなどを愛読。専門は、土木計画学、土木史、観光地、研究テーマは文化の景観保全とリターンイノベーション。



濱田 孝正
(日本フットパス協会理事長)
森林や田園地帯、古い街並みなど、地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと(Foot)が出来る小径(Path)という興味を持つフットパス、お金をかかず、あるものを利用して楽しめる、フットパスの普及啓発活動を行っている。



宮治 勇輔
(熊本やび豚/NPOこそがネットワーク)
菓業の発祥地を継ぎ、株式会社やまやを設立し、代表取締役就任。生業は、自身はプロデュースを担当し、兄弟の二人三脚と独自の戦略により、フットパスに押し上げる。また、日本の農業の現状に強い危機意識を持ち、「農業のこせがネットワーク」を設立。



真鍋 邦大
(熊四国食べると通信代表取締役専務)
東京大学大学院卒業後、外資系金融会社を経て、地域おこしを主業とする小川島に移住。地域おこし会社である株式会社を創業し、瀬戸内海の島々の素材をポイントにする「シラネボン」や「小豆島」のギフトなど地域資源を活用したローカルビジネスの開発を多数手がける。



井手 修身
(イチアバートナース 代表取締役)
NPOイチャアバートナース
旅行社入社後、地産地消事業部を創り、全国各地の地域活性のアプローチを仕掛ける。「人材×マーケティング」で観光・業界の再生を行う会社を起業し、九州を中心に企画・ホテルの再生支援と地域活性化のプランニングに携わる。



高山 美佳
(LOCAL&DESIGN 代表取締役)
久留米市田丸町の地域農家に嫁ぎ、旅の写真とデザインで地域を元気づける。久留米市まち旅情報誌「水鏡」の編集者として「まち×マーケティング」の企画として「柳川」のまち歩きツアーとして、その物語を伝える地域ブランディングが大きな反響を呼んでいる。



田坂 逸明
(アシリテーター・マーケティングプロデューサー)
日本アシリテーター協会監事や、リカレントレジャー、ターゲットマーケティングなどを務める。広告業界にてブランドマーケティングやマーケティングの専門家を立ち上げ、行政関連のアシリテーターなど務めるほか、福岡大学や九州大学にて非常勤講師。



中野 幸浩
(中野キキヒロ商店代表)
和食専門店を経て、食料理への興味からスーパーの鮮魚赤い部門の責任者となる。その明るさと働きぶりで名物店長となる。九州のムラ市場に入社、店舗立ち上げや運営に携わりついで、消費者と生産者・地域の関係を築き、産品を生み出す交流の場を築き上げる。現在は独立。



長野 良市
(阿蘇アースライブラリー主催・プロ写真家)
熊本県阿蘇生まれ、阿蘇を活動拠点に九州、アジアを巡り、写真家として活躍する。(社)日本写真家協会および(株)日本写真家ユニオン委員、よび(株)日本写真家ユニオン委員、主幹者として、写真家「阿蘇」(阿蘇町)「阿蘇」(阿蘇市)「阿蘇」(阿蘇市)「阿蘇」(阿蘇市)を主催する。



宿泊研修については裏面をご覧ください。



宿泊研修

第4回 3月8日~9日(火・水) 大分県安心院町(現地研修)
情報共有に必須となり、カメラの技術や地方の発展などを意識を見ながら学ぶ。

主な学びのポイント 企画力

- ①13:00 希望というグリーンツーリズムの経緯の為に 宮田 伸一
- ②15:00 希望ワーク 長野 良市
- ③18:00 農家民泊に宿泊
- ④翌9:30 「ありのままのグリーンツーリズム」 中山 ミヤ子
- ⑤翌11:00 朝餐(安心院ワイナリー)

※当日は送迎バスを用意しております。※宿泊、飲食代は受講者負担となります。